

一般社団法人カーボンリサイクルファンド（CRF）  
2023年度研究助成活動に係る募集要項（一般公募枠）

【募集趣旨】

- ✓ CRF は、炭素循環（カーボンリサイクル）のイノベーションの創出の重要性に着目しており、CRF 研究助成活動によるグラントの公募を開始いたします。
- ✓ 組織は問わず、研究者個人（又はチーム）でご応募頂きます。2050年カーボンニュートラルに資する研究成果を期待しており、化学、燃料、鉱物化をはじめバイオ等のネガティブエミッションなど幅広い分野からの応募を可能としています。
- ✓ 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）等と連携したプログラムになっており、過去の成果が国プロジェクトにつながった例もございます。また、ビジネス化に向けての支援をさせて頂いております。
- ✓ CRF はカーボンリサイクル大学（ワークショップ形式の若手教育プログラム）をスタートさせるなど、人材育成に力を入れており、今回、若手研究者からの多くの応募を期待しております。
- ✓ なお、趣旨は同様ですが、昨年度同様、応募様式が簡易なスタートアップ枠を設けることといたしました。

1. 研究助成活動の目的

当法人では、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第131条及び一般社団法人カーボンリサイクルファンドの定款第29条から第32条及び寄付金規則第2条（1）に基づき、研究助成ファンドを創成し、循環炭素社会の実現に向けたカーボンリサイクルに係る研究へのグラントの交付を行います。

カーボンリサイクルとは、CO<sub>2</sub>を資源として活用し、主に化学品、燃料、鉱物などへ転換すること指しますが、当法人が目指す循環炭素社会は、CO<sub>2</sub>の利活用に留まらず、農林水産業を始めとしたCO<sub>2</sub>吸収源の活用や生物活用、炭素を含む材料のリサイクル等も包括的に含めた地球規模の炭素循環を上手く活用していくような社会を指します（図1）。

経済産業省はカーボンリサイクル室を2019年2月に設置し、同6月にカーボンリサイクル技術ロードマップを発表2021年7月改定が行われ、カーボンリサイクル政策を推進しています。さらに、2050年カーボンニュートラルを目指すと言がなされ、「カーボンリサイクル」をはじめとした革新的イノベーションがカギであることが述べられています。これに伴い、グリーンイノベーション基金が設置され、14のグリーン成

長戦略分野にカーボンリサイクルが位置づけられました。しかし、社会実装に向けては、民間の自主的なカーボンリサイクルへの支援の重要性が指摘されています。

このような背景により、研究助成活動では、カーボンリサイクル技術のコスト低減等に向けた研究、あるいはカーボンリサイクルの社会実装に向けた課題解決に関する研究等に対する助成・支援を通じて、カーボンリサイクル・イノベーション創出に貢献することを目的としています。

2050年カーボンニュートラルという長期目標の達成する上では、若手研究者の育成が重要と考えており、当法人では2021度よりカーボンリサイクル大学（ワークショップ形式の若手人材教育プログラム）をスタートさせました。本研究助成活動においても**若手研究者の方も積極的に応援**したいと考えております。

また、欧米では、カーボンリサイクルに係る技術を有するスタートアップが多数立ち上がりイノベーション創出に繋がっています。我が国においてもスタートアップへの徹底支援を掲げ、スタートアップ育成に重点が置かれ始めました。当法人としては、趣旨は同様ですが、応募様式を簡略化したスタートアップ枠を設け、スタートアップ育成とイノベーション創出を後押ししていきます。

なお、本活動は、NEDO等の国プロと連携したプログラムとなっており、過去の成果が国プロジェクトにつながった例もございます。また、ビジネス化に向けても支援させて頂いております。



図1 循環炭素社会のイメージ

## 2. 概要

上記の目的のため、本研究助成活動の一環としてスタートアップ枠を設置しま

す。必要書類や提出先は別に指定するWebサイトをご確認ください。なお、スタートアップ枠は一般公募枠との併願が可能です。

スタートアップ枠公募Webサイト：<https://growth.creww.me/53b5040d-da89-11ed-b790-f3b08b773a98.html>

一般公募枠：本活動の公募枠。

→ スタートアップ枠：応募様式簡素化、一般公募枠と併願可能。

※スタートアップ枠に関しは、特にシードステージ/アーリーステージのスタートアップ企業・中小企業・法人や起業予定の研究者の方からの応募をお待ちしております。

※スタートアップ枠は数件程度の採択を予定しております。

※助成額は1件あたり最大1,000万円・数件程度を予定、助成金は2年以内用途。

### 3. 募集要項

#### (1) 研究助成対象

社会的課題を解決するため、CO<sub>2</sub>（あるいは炭素原子や炭素を含む材料）を資源として利用するカーボンリサイクル及び関連技術、並びにカーボンリサイクルを実現するための社会科学や制度設計等の分野に関する研究や気候変動対応に資する技術

#### (2) 研究分野（具体例）

- CO<sub>2</sub>のリサイクル・利用分野
  - ✓ 化学品（オレフィン、BTX、生分解性プラスチック製造等）
  - ✓ 燃料（メタネーション、バイオ燃料製造、EOR（石油増進回収）利用等）
  - ✓ 鉱物化（コンクリート製品、炭酸塩固定等）
  - ✓ 生物の活用（細菌・バクテリアの活用、ブルーカーボン、遺伝子操作・品種改良による光合成効率化等）
  - ✓ 機能性材料（カーボンナノチューブ、グラフェン製造等）
  - ✓ バイオミミック（人工光合成等）
- カーボンリサイクルに必要なCO<sub>2</sub>分離回収・H<sub>2</sub>に関連する分野
  - ✓ 水素の効率的生産（水電解技術、水素の生産を促進する菌等）、効率的なアンモニア合成・分解
  - ✓ CCS<sup>\*1</sup>、DACCS<sup>\*2</sup>、BECCS<sup>\*3</sup>等に係るCO<sub>2</sub>の効率的分離回収技術（吸収液・材、分離膜、直接空気回収等）

※1 CCS : Carbon dioxide Capture and Storage(CO<sub>2</sub>回収・貯留)

※2 DACCS : Direct Air Capture with Carbon Storage (直接大気回収・貯留)

※3 BECCS : Bio-energy with Carbon Capture and Storage(バイオマス CO<sub>2</sub>回収・貯留)

- CO<sub>2</sub>の直接利用
  - ✓ 医療分野（炭酸効果活用等）
  - ✓ 農林水産分野（ビニルハウスによる促成栽培、土壌固定、植林・早生樹等）
- 社会科学等の分野（CO<sub>2</sub>削減シナリオ、カーボンリサイクル導入促進シナリオ、カーボンリサイクル普及に向けた制度設計、CO<sub>2</sub>の価値付けの検討等）
- 炭素資源(プラスチック等)の循環に係る技術
- カーボンリサイクルの価値向上に係る技術(AI/IoT 技術による CO<sub>2</sub> の見える化、CO<sub>2</sub>を使った高付加価値材へ転換等)
- その他（気候変動対応に資する技術等）

### (3) 応募者の範囲

大学や企業、法人等の研究者又は研究チームとします。応募は所属する大学、企業、法人等の許可を得た上でご応募ください。研究代表者の国籍は問わず、所属機関は日本法人とし、カーボンリサイクルファンド会員・非会員については問いません。

特に、2050年カーボンニュートラル達成を担う若手研究者の方からの応募をお待ちしております。

### (4) 助成・支援金額

上限は1件あたり1,000万円・10件程度を予定。

(過去採択の平均助成額は1件当たり約700万円)

### (5) 助成・支援期間

助成・支援の対象となる研究期間は、決定日より2年以内を目途とします。

但し、決定日より1年経過の後、成果報告会での発表と中間報告書の提出をお願いします。

### (6) 応募方法

#### ① 提出書類

- ・ 提出書類は郵送物(印刷物)と電子データ(Microsoft Formsによる基本情報と格納先URLの回答)の両方を(11)の申請書提出先に提出してください。
- ・ 郵送物：以下の書類1)、2)を、6月15日(木)(当日消印有効)までに事務局宛に

郵送または特定信書便にて提出下さい。なお、提出書類については返却いたしませんので予めご了承ください。

1) 交付申請書(様式1号の研究助成金交付申請書表紙及び様式2号の研究助成金交付申請書一式) ……………1部

※ホッチキス止めは不要です。

2) 活動内容を証明する資料(会社案内、パンフレット等) …1部

- ・ 電子データ：交付申請書(様式1号の研究助成金交付申請書表紙及び様式2号の研究助成金交付申請書一式(カラーPDF)、並びに、②記載の動画データ(任意提出)の電子データを6月15日(木)17時までにクラウドサービス(BOX、firestorage、ギガファイル便等)に保管のうえ、様式1号の研究助成金交付申請書表紙に記載した基本情報とURL等アクセスに必要な情報を(11)に記載のMicrosoft Formsに回答することで提出してください。クラウドサービスによる電子データの提出が困難な場合、メール([grant@carbon-recycling-fund.jp](mailto:grant@carbon-recycling-fund.jp))で提出をお願い致します。

② その他の提出物(任意提出の動画)

- ・ スマートフォンやPCのカメラ等を用いて、最大5分で自己紹介・当該研究内容のポイントの説明や意気込みなどをPRする動画を作成してください、提出は任意です。

③ 募集期間

2023年5月10日(水)～6月15日(木)17時(郵便物は当日消印有効)

なお、公募説明会は実施いたしません。ご不明な点は(11)の問い合わせ先までご連絡ください。

申請書への押印が提出期限までに完了しない場合、未押印の申請書も受け付けることとします。ただし、7月14日(金)までに、改めて押印済みの申請書をご提出ください。

(7) 選考方法

- ① 採択審査委員会で選考いたします。
- ② 選考の結果は、8月上旬頃に申請者宛にご連絡いたします。
- ③ 採用された申請者には決定通知と助成金交付手続き書類を送付します。
- ④ 採択された案件については申請者(研究代表者名・所属機関)・テーマ名をWebサイトで公表いたします。また、当法人が主催するセミナーや外部機関が主催する学会・セミナーで公表する場合があります。

## (8) 助成金の交付

- ① 交付の時期及び方法は、交付決定後、速やかに研究代表者所属機関指定の口座にお振込みいたします。必要があれば、交付決定時に申請者と支払時期や支払方法を協議して定めます。
- ② 助成金を交付する際には、後記(9)に従うことを承認したことを示す請書を提出していただきます。
- ③ 交付した助成金については、後記(9)の①に該当する場合を除き返還の必要はありません。

## (9) 助成金交付における注意点

助成金交付における主な注意点は以下の3点です。その他詳細は、Webサイトに添付しております助成金交付規程をご確認下さい。

- ① 真に研究に必要な資金であれば、特に用途についての制限はありません。費目の詳細は助成金交付規程をご確認下さい。ただし、申請者が所属する機関の間接経費にあてることができません。
- ② 助成研究が終了したときは、研究結果概要を記載した実績報告書を当法人に提出して下さい。また、30日以内に当法人に成果報告書を提出して下さい。
- ③ 研究助成は「研究助成交付申請書」記載内容に基づき実施して下さい。

## (10) 個人情報の取扱について

提出書類に記入された個人情報は、法令等が定める場合を除き、事前に本人の同意を得ることなく個人情報を第三者に提供いたしません。

## (11) 申請書提出先／問い合わせ先

〒105-0003 東京都港区西新橋3-2-1 Daiwa西新橋ビル3階  
一般社団法人カーボンリサイクルファンド イノベーション部  
(担当：鹿島、塩形、松尾)

TEL 03-6432-0011

申込用 Microsoft Forms : <https://forms.office.com/r/sZkaWkaS1y>

e-mail : [grant@carbon-recycling-fund.jp](mailto:grant@carbon-recycling-fund.jp)

## (12) その他

当法人では、不採択となった場合も、当法人の会員企業とのマッチング等様々なご支援を行っておりますのでお申しつけ頂ければ幸いです。